

絆  
さずな

## 「東日本大震災」支援・被災地訪問

### ■全日本中学校長会役員が被災地訪問

平成29年8月30日（水）から31日（木）にかけて、全日本中学校長会役員による東日本大震災被災3県（岩手、宮城、福島）訪問のため、直田益明会長、石鍋 浩総務部長、川越豊彦支援委員長、堀井榮夫事務局長が、1泊2日の日程で来県しました。県中学校長会からは、高橋清之会長、佐藤 進総務部長が同行し、宮古市立河南中学校、宮古市立田老第一中学校、岩泉町立小本中学校の3校を訪問しました。



「復興ソング」を全校で合唱する河南中生

1日目は、宮古市立河南中学校を訪問し、河南中学校の震災時の状況、そして、被災から取り組んできた復興教育の様子について説明を聞くことができました。また、生徒たちの手によりつくられ、今も歌い継がれている「復興ソング」の全校合唱を聞き、心を込めて、手話を交えながら合唱する生徒たちの姿勢に、直田会長は、挨拶の中で時折声を詰まらせながら生徒たちを激励しました。



河南中生に激励の言葉を贈る直田会長

2日目は、宮古市立田老第一中学校を訪問し、校内に開設されている震災資料室「ヴォイジャー」で、震災当時の写真パネルや津波体験作文集等の展示物に直接触れるとともに、震災時から復興に向けて取り組んできた生徒たちの活動の様子を聞くことができました。その後、防浪堤にも立ち寄り、地区の状況を見学することができました。



田老一中震災資料室で説明を聞く直田会長ら

最後に岩泉町立小本中学校を訪問しました。震災後に移転新築された小本中学校では、今年の台風10号による被災状況や防災に関わる対策等について説明を受けました。更に校舎屋上からは、小本地区を見渡しなが、今なお復興道半ばの状況について実感をもって視察することができました。



小本中学校屋上から周辺地区を視察

2日間の訪問期間中、高橋会長から全日中に対して、被災地区にある中学校の現状や課題、今後の連携の在り方や要望等について、随時説明を行いました。全日中からは、今後の支援の取組等について話題があげられ、協議を深めることができました。